

### 3. 教育本部執行方針（案）

私たちを取り巻く環境は一向好転せず、相変わらず厳しい情勢が続いています。

スキー界も例外ではなく、全国的に会員が減少する状況にあります。このような環境下でスノースポーツの活性化を図るべく、活力ある行事への取り組みが必要と考えます。今期事業計画の目標としては「今まで以上にスキー本来の楽しさを一人でも多くの方々に味わっていただく」を基本に取り組んでいきます。

ここ数年取り組んできました「指向別研修会」の充実「会員ニーズに応えるべく事業の企画・実施」「専門委員のレベルアップによる会員へのサービス向上」等きめ細かい運営に努めます。

#### 各事業の充実について

- ・ 指導員研修会、検定員クリニック及び指導員養成講習会等は「アンケート」の声を活かし、その充実に努めます。

#### クラウン・テクニカルの運営変更について

- ・ クラウン・テクニカル検定会は1泊2日の会期に変更します。
- ・ それに伴い会場は白馬五竜スキー場へ変更します。

#### 北海道行事の見直しについて

- ・ 北海道行事はマンネリにならないよう若手指導員、ブロック技術員、専門委員、会員を交え新たに企画検討し、より参加しやすくなるよう努めます。

#### 選手育成と技術選手権大会の運営変更について

- ・ SAK選手の「SAJ出場目標」を高めるため、レベルアップ等中長期プランを作成いたします。
- ・ 千葉県スキー連盟と共催で開催し、お互い切磋琢磨いたします。
- ・ 富士山を囲む3県（神奈川、静岡、山梨）での技術選手権大会等を工夫していきます。

#### レベルアップ講習会とハンディキャップスキー講習会の充実について

- ・ レベルアップ講習会は年々注目を浴びてきて、将来とも県下のスキー普及拡大に寄与すると思われます。工夫し充実に努めます。
- ・ ハンディキャップスキー講習会は大きな成果を残し、大変好評でした。傷害へ配慮しながらHC委員会と連携しその運営充実に努めます。

#### SAK 専門委員のレベルアップについて

- ・ SAK専門委員制度をスタートさせ、事業運営に大きな貢献をしていますが続け技術的なレベルアップが必要です。その努力をいたします。
- ・ 教育の専門委員は競技の場でも活躍できるよう競技本部と連携します。